

五島高校と議員との意見交換会の要旨

○参加者 議員：堀江議員、山下議員 高校生：五島高校1年生5名

○発表テーマ：デジタル GEO マップの作成を通じた離島地区活性化の提案

○意見交換会要旨

(堀江議員)

五島の活性化については、自治体だけでなく、若い人達の発想が必要。提案の「中高生商店街ギャラリー」では、商店街にどうやって観光客を取り込むかが課題。

(生徒)

閉店しているお店を安く貸し出して使用してもらったらどうか。お試し期間を設けてその期間中は更に料金を安くするなど。また、借りた人がお店としてだけではなく、住宅としても使用することができれば、島外からの人も増えるのではないかと。

(山下議員)

ギャラリーとしての展示だけでなく、島民と観光客が相互に交流ができるような取組みをしても面白いと思う。

(堀江議員)

五島市内には空き家がたくさんあり、その空き家対策は市が行っており、入居にあたっての改修費用の負担など様々な課題も多いが、提案～の超短期滞在計画、荒川温泉の発想、廃校のシェアハウス化は非常に面白い発想である。

(山下議員)

コワーキングスペースとして利用しても面白いかもしれない。既に五島市内でも実施しているところが5件ほどあるようだ。

移住者だけでネットワークをつくるのではなく、地元の人ともつながりをもっていくことが大切だと思う。

(堀江議員)

五島に魅力がないのは、アミューズメント施設が無いからではないかとのことだが、無いことが逆に魅力である(星が綺麗に見えるなど)との視点もあってよい。

(生徒)

空き家・空き店舗の活用で、シェアハウスや交流の場を作ろうとする際に、資金面で躊躇することも多いと思うが、どのような方法があるか。

(山下議員)

国境離島交付金が使える。人件費・開業資金など色々な用途に使用できる。このように国、県、市のお金を有効活用して欲しい。市役所などで相談してもらいたい。

(生徒)

五島では農業・漁業など給料が不安定なものが多いと感じる。安定するような職

業をどうやって増やすのかが課題と考えるがどうか。

(堀江議員)

漁業・農業が安定的に収入を確保できるというような社会の仕組みをつくっていくことも必要である。

(山下)

県でも儲かる農業、儲かる漁業というモデルケースを周知し、農業・漁業の支援をしているところ。

(学生)

将来、五島を離れることになると思うが、離れた場所であっても支援ができるような方法はあるか。

(山下議員)

ふるさと納税が一番いいのではないか。

色んな都市に「ゆかりの会」という長崎出身者などで作る会があり、そこで様々な活動をするのもよいのではないか。

(学生)

部活などで島外に遠征などにいくのだが、逆に島外の人が五島に来てもらうようなことができないか。

(堀江議員)

五島市でも色々な取組を行っていると思うが、離島甲子園の開催や、合宿を誘致することで様々な学校に来てもらい合同合宿を行うなども良いのではないか。